

# 「住み慣れた街でいつまでも —認知症の人と家族にやさしいまち東京—」

認知症になっても、自分らしく住み慣れた街で安心して暮らしていきたい。認知症のご本人、そしてご家族のその願いを支えるために、東京都多職種連携連絡会では、医療介護福祉の多職種で集まり議論を重ねて『住み慣れた街でいつまでも—認知症の人と家族にやさしいまち東京—』と題した冊子をまとめました。

今回、認知症への理解を深め、医療介護福祉オール東京のメンバーそれぞれの専門分野でできることを、都民の皆さまにお伝えし、関係者同士で共有するために、シンポジウムを開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成30年3月21日（水曜・祝日）13:00～16:00（12:00 受付開始）  
会 場：東京都医師会館 2階講堂（裏面地図参照）  
対 象 者：都民 及び 医療介護福祉関係者、行政職員 等  
参 加 費：無料  
定 員：250名程度（先着順）\*定員に達した場合に限りお申込をお断りする場合がございます。



## プログラム

司会 渡辺 象（東京都医師会 理事）

13:00～13:10	開会・挨拶	(10分)
	・尾崎 治夫（東京都医師会 会長） 成田 友代（東京都福祉保健局 医療改革推進担当部長）	
13:10～13:50	基調講演 「「認知症とともに、生きる」～私の大切なもの～」	(40分)
	・講師 藤田 和子（日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事） 水谷 佳子（のぞみメモリークリニック 看護師・認知症当事者の会 事務局）	
	・座長 平川 博之（東京都医師会 副会長）	
13:50～14:10	寸劇 「認知症は不便だけど不幸じゃない」	(20分)
	・劇団たしよく（東京都多職種連携連絡会委員有志）	
14:10～14:25	休憩	(15分)
14:25～15:55	パネルディスカッション 「ひとり暮らしで認知症になっても住み慣れた街でいつまでも」	(90分)
	・座長 西田 伸一（東京都医師会 理事）	
	・パネリスト <u>発表各8分×6、討論40分</u>	
	渡辺 象（東京都医師会 理事） 高岡 里佳（東京都介護支援専門員研究協議会 副理事長） 川崎 裕彰（東京社会福祉士会 地域包括支援センター委員）	椎名 美恵子（東京都訪問看護ステーション協会 会長） 竹原 敦（東京都作業療法士会 認知症の人と家族の生活支援委員） 大野 教子（認知症の人と家族の会東京都支部 代表）
15:55～16:00	挨拶・閉会	(5分)
	・森久保 雅道（東京都医師会 理事）	

### （申込方法）

裏面の参加申込書 兼 参加票にご記入いただき、  
FAXにてお申込みの上、当日ご持参下さい。

**FAX: 03-3292-7097 締め切り: 3月9日(金)**

### （問合せ・申込先）

公益社団法人 東京都医師会 医療介護福祉課  
〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5

電話：03-3294-8835

FAX：03-3292-7097

事前にFAXにてお申込みの上、当日本票をご持参ください。

# 参加申込書 兼 参加票

(公社)東京都医師会 医療介護福祉課 行

FAX : 03-3292-7097

<3月9日(金)締め切り>



東京都在宅療養推進基盤整備事業（東京都委託事業）  
平成29年度東京都多職種連携連絡会シンポジウム

## 「住み慣れた街でいつまでも—認知症の人と家族にやさしいまち東京—」

(ふりがな)		
氏名		
所属	該当するものに○をつけて下さい 1. 都民 ( ) 2. 医療介護福祉関係者 ( ) 3. 行政職員 ( ) 4. その他 ( )	
電話・FAX	(電話)	(FAX) 定員超過によりご参加いただけない場合のみ、こちらからご連絡します。

### 【会場 東京都医師会館】

〒101-8328 東京都千代田区神田駿河台 2-5

TEL:03-3294-8821(代表) FAX:03-3292-7097

- JR 中央・総武線 御茶ノ水駅（御茶ノ水橋出口）下車徒歩約2分
- 東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 下車徒歩約4分
- 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分

